



みんなの未来に幸あれ！

令和8年はたちの集い



企画運営スタッフの 「20歳の決意」 「大切にしたい言葉」

11人が式典の準備を行い、
当日の運営に携わってくれました

自分の行動に責任を持ち、
周りから
信頼される人間になる



挑戦し続ける



自分でやると決めたことは
最後までやり抜く



日々の努力を怠らない



笑顔と感謝を忘れず、
自分らしく成長していきたい



学ぶ姿勢を忘れず、
周りへの感謝を大切に
しながら成長していきたい



大人としての自覚と責任を持ち、支えてくれた方に
恩返しをする



健康と自己管理を徹底する！



挑む！全力挑戦！！



周りの人への感謝を忘れず、
今を思い切り楽しむ



感謝の気持ちを忘れない！



20歳が思う 観音寺市の好きなところ

♥にぎやかで伝統あるちょうさ祭り。
特に、祭りの季節になると地域の人の笑顔
が増えるところが大好き！
この伝統を守っていきたい！
♥街全体が元気いっぱいなところ
♥地域の人たちが温かく、安心できる
♥海がきれいで自然がいっぱいあるところ

ことしの20歳は平成17年度生まれ 20年前を振り返ってみよう！

- ◆旧観音寺市と旧大野原町、旧豊浜町が合併
- ◆トリノ冬季オリンピック女子フィギュアスケートで荒川静香選手が金メダルを獲得
- ◆第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が開幕し、日本が初代王者に
- ◆青春アミーゴ(修二と彰)、
粉雪(レミオロメン)などがヒット



はたちの集いについての
問い合わせ先
文化振興課 ☎ 23-3943

式典後には、石村爽人さんと土井智揮さんの司会進行で「はたちの宣言」コーナーがあり、「店を出して成功させます」「責任を持って仕事をします」などそれぞれの決意を披露しました。

観音寺市は、企画運営スタッフの西浦琥太郎さんと山下晃叶さんが司会進行。佐伯市長は「若いということは、本当に素晴らしい。若さを持つてどんどんチャレンジし、どんどん失敗してください。人は、失敗して大きくなっていくもの。しっかりと自分の考えを持ち、夢に向かって進んで行ってほしい」と激励しました。また、代表者の白川愛子さんは「観音寺市で培ったかけがえのない経験や仲間を力に、挑戦を恐れず前進していきたい。そして、支えられる立場から支え導く存在になれるよう歩みを進めます」と力強く誓いの言葉を述べました。

1月11日、ハイスタッフホールで観音寺市はたちの集いが開催され、359人が出席しました。

式典は、企画運営スタッフの西浦琥太郎さんと山下晃叶さんが司会進行。佐伯市長は「若いということは、本当に素晴らしい。若さを持つてどんどんチャレンジし、どんどん失敗してください。人は、失敗して大きくなっていくもの。しつかりと自分の考え方を持ち、夢に向かって進んで行ってほしい」と激励しました。また、代表者の白川愛子さんは「観音寺市で培ったかけがえのない経験や仲間を力に、挑戦を恐れず前進していきたい。そして、支えられる立場から支え導く存在になれるよう歩みを進めます」と力強く誓いの言葉を述べました。